

# 防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」

## ～じしん編～ 解説書案

防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」および「命を守るための防災教育イラスト」は、災害が発生したときに起こる危険な状況をイラストで表現し、カードゲームとしたものです。子供たちが遊びながら防災について学び、楽しみながら防災力を身につけることを目的としています。

本解説書は、「**じしん編**」を用いたゲーム・防災教育を行う際に、指導者の方に知っておいて頂きたい内容(ストーリー、カードのポイント)を整理したものです。

本資料は暫定版として作成したものです。今後、さまざまなご意見などを踏まえ、ブラッシュアップしていく予定です。

### 【イラスト(ピクトグラム)表現について】

災害を経験したことない子供たちでも、災害の様子が伝わり、意識に残りやすいよう、それぞれの災害をイラストで紹介しています。

その際、危険な場面が怖くなりすぎないように、人を「ピクトグラム」で表現しています。なお、施設のサイズ感や発生事象のディテールは、伝えたいポイントを踏まえて表現しています。(例えば、水害の場合は「水」との関係、地震の場合は周囲の構造物との関係などを踏まえ、ディテールの細かさなどを変えています。)

### 【漢字の用法について】

「防災カードゲーム」内で用いる漢字は、教育漢字(6年生までに学習する漢字)を基本とし、ふりがなは、小学3年生までに学習しない漢字を対象に付しています。漢字の用法については、本カードゲームは上記目的のとおり子供達(小・中学生)に活用していただくことを想定していることから、小学校で学習しない漢字を用いた熟語などは、語彙の意味が伝わらない可能性を鑑みて対応しています。(教育漢字以外の漢字を用いる語彙は、単純に平仮名で表現することは極力避け、可能な限り分かり易い表現に言い換えています。)

一方で、ふりがなは、災害が発生したときに起こる危険な状況などを小学校の上級生(4年生以上)には理解していただきたいと考え、4年生以上であれば無理なく読むことができるように配慮しています。

# じしん1

## ①危険を察知できる（震前対応）

災害の種類：地震

解説：

地震時に部屋の中で家具などの倒壊に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

固定していない家具は、地震のゆれで、たおれてくるよ

⇒地震を感じたら、落ちてくる、たおれてくる、動いてくるものから、はなれよう。

イラストでは、タンスの下敷となっていますが、これは「倒れてくるもの」の代表例です。  
室内照明、テレビなど「落ちてくるもの」「うごいてくるもの」からも離れましょう。



地震時に落ちる、倒れる、動くことが懸念される家具を表示しています。



地震のゆれで

固定していない

家具は

たおれてくるよ

倒れた家具などによって逃げ道をふさがれるなどの2次的な影響も懸念されます。  
直接の被害だけでなく、落ちたり、倒れたり、動いたりすることで、地震の後にどのようなかをを考えましょう。

## じしん2

### ②危険を察知できる（地震発生時対応） 災害の種類：地震

解説：  
地震時にブロック塀の倒壊に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

背の<sup>せ</sup>高いブロックべいは、地震のゆれで、くずれたり、たおれてきたりすることがあるよ  
⇒ブロックべいの近くで地震を感じたら、へいの高さと同じくらいはなれよう！



じしん  
**地震**のゆれで

せ  
**背**の高い

ブロックべいは

く  
**くずれたり、  
たおれてきたり  
することがあるよ**

学校や自宅の周辺にあるブロック塀について  
地図などを使って考えましょう。

### じしん3

## ②危険を察知できる（地震発生時対応）

災害の種類：地震

解説：

調理中に地震が発生し、無理に火を止めようとして火傷を負ってしまう。

（子ども向け解説）

料理中に地震を感じて、火をあわてて止めようすると、熱いお湯や油がかかってしまうよ  
⇒まずは身を守ろう！ガスやIHヒータは勝手に止まるよ。



料理中に地震を感じて

火をあわてて止めようすると

熱いお湯や油がかかってしまうよ

## じしん4

### ③震後の備えをする 災害の種類：地震

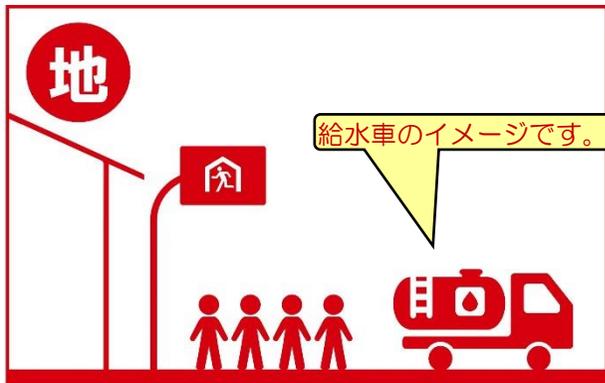
解説：  
地震発生後の避難生活で二次的に被災する。

(子ども向け解説)

地震の後は、トイレの水が、流せないことがあるよ

⇒トイレが使えなくても困らないように、災害用トイレを用意しておこう！

トイレが流せなくなる原因は  
・断水などにより流す水がない  
・排水設備（下水道施設を含む）の損傷  
があります。  
このイラストでは、どちらかは特定したイメージとはしていません。



**地** 震の後は

**ト** イレの水が

**流** せないことが  
あるよ

マンションは、停電に伴い断水することがあります。  
お風呂に水をためておくなどの備えをしましょう。  
災害用簡易トイレの他、トイレトーパーなどの備蓄も合わせて必要です。

### ③震後の備えをする 災害の種類：地震

解説：  
地震後は物資などが手に入りやすく、生活に不自由が生じる。

(子ども向け解説)

地震が起こると、道路が使えなくなって、品物がお店から無くなってしまふことがあるよ  
⇒地震の後に困らないように、生活に必要な物を用意しておこう！

道路や橋梁などの社会インフラは地震に備えた対策をしていますが、平時から災害時に備えた備蓄などをしましょう。  
マンションでは、停電に伴うエレベーターの停止なども想定され、水・食料の運搬が困難になることが想定されます。  
生活用品などの備蓄も考えましょう。



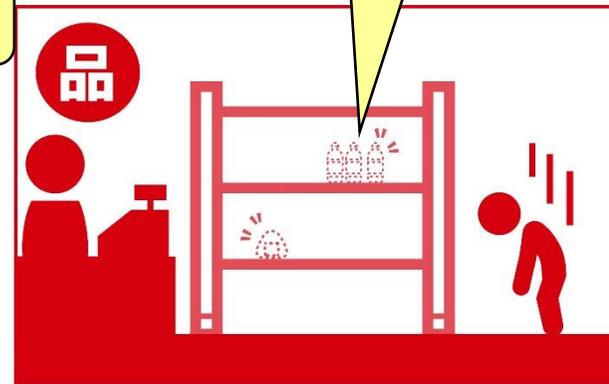
じしん 地震が起こると

橋梁は、桁、橋脚、橋台を比較的正確に表現しています。



道路が  
使えなくなって

橋梁取付部の段差は、桁と橋台の境界ではなく、橋台背面盛土であることを表現しています。



品物がお店から  
無くなってしまふ  
ことがあるよ

### ④地震のメカニズムと特徴を知る。

災害の種類：地震

解説：  
大規模地震時の初動が遅れる。

(子ども向け解説)

ゆれている時間が、長〜く続いた地震は、大きな災害になっていることがあるよ  
⇒テレビやラジオ、インターネットで情報を集めよう。

テレビのニュース報道を想定したイラストです。テレビやラジオ、公共機関から発信される情報など発信元が明らかな正しい情報を集めるようにしましょう。インターネットやSNSなどで発信され情報も有効です。ただし、誤った情報が流される危険性もあります。情報源の確認などをしましょう。

地震を感じて机の下で身を守る場合は、机の脚をしっかりと支え、机が動くのをおさえます。



**ゆ** れている時間が

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災、マグニチュード9.0）では、5分以上揺れが続きました。

**な** が〜く続いた  
地震は

**大** きな災害に  
なっていることが  
あるよ

#### ④地震のメカニズムと特徴を知る。

災害の種類：地震

解説：

地震が発生した後に、安全確認を怠り、余震で被災する。

(子ども向け解説)

一度ゆれが収まった後でも、もう一度大きな地震が来て、ケガをすることがあるよ  
⇒大きな地震の後は、落ちてくる、たおれてくる、動いてくるものを、もう一度確認しよう。

地震後は、応急危険度判定制度に基づき家屋の危険度判定が行われます。「危険」と判断された場合は、余震などにより倒壊する恐れがあります。建物に立ち入らないようにしましょう。イラストの家屋は、「要注意」レベルの家屋をイメージしています。



熊本地震では、熊本県益城町で震度7が観測された2日後に再び、震度7の揺れが発生しました。大きな地震の後の地震（一般的に余震と呼ばれる）は、必ず最初の地震より小さいわけではありません。後に発生する地震の方が大きいこと（後の方が本震）もあります。

**一** 度ゆれが  
おさ  
収まった後でも

**も** う一度大きな  
じしん  
地震が来て

**ケ** ガをする  
ことがあるよ